

# 6月定例会報告 市長総括説明から

6月3日、平成28年第2回市議会定例会が開会しました。最初に、全国市議会議長会表彰を受けられた議員にお祝いを述べました。

続いて、①熊本地震の対応 ②但東中学校の3年生が、東京への修学旅行で豊岡をPRしたこと ③韓国でコウノトリのひなが誕生したこと―を報告した後、当面する市政の諸課題ならびに提出議案の主なものを説明しました。その概要をお知らせします。

## ■安全に安心して暮らせるまち

### ○円山川河川整備事業(来日川合流部パラペット工事)

現在、国により城崎大橋から奈佐小橋までの円山川左岸特殊堤(パラペット)整備工事が進められています。来日川合流部では、円山川の洪水高に合わせ、来日川護岸の嵩上げと、来日橋の架け替えが行われます。

本年度は①円山川河川内への仮設栈橋の設置②結和橋左岸スロープの一時撤去に伴う仮設スロープの設置③宮代川樋門の設置―が行われます。

工事の進捗状況は、4月30日現在で、計画値95・7%に対し96・2%です。今後、外構工事等を終え、7月末に完成する予定です。

客も目指します。○豊岡版DMOの設立 6月1日「一般社団法人豊岡観光イノベーション」を設立しました。設立目的は「観光まちづくりの観点から、当該地域の関係者の力を結集し、顧客視点に立ち、地域の魅力を再編集して、地域の稼ぐ力を引き出し、地域経済の活性化に寄与すること」です。特にインバウンド需要の取り込みに力を入れます。

○宵田商店街活性化事業 昨年度、宵田商店街は、県の「商店街の活性化とまちの再整備による賑わいのまちづくり」事業のモデル商店街に選定されました。今後、地元の関係者が中心となり「まちなか再生協議会」を設立し、カバンストリート<sup>カバンストリート</sup>の取組みを中心に観光客の増加などを図る具体的方策を探ります。

高橋診療所の新田 誠医師が3月をもって退職されました。後任に太田秀明医師をお迎えしました。

今年1月から行ってきた改修工事のうち、温泉館と本館宿泊棟の工事が、5月23日に完了し、翌24日から営業を開始しました。今後は、旧事務所部分の改修、別館の外壁修繕を行い、7月29日には全ての工事が完了する予定です。

外国人宿泊者数の目標は、2020年で10万人としていますが、今後は、1人当たりの観光消費額、平均滞在日数などの目標も設定します。

昨年度のシカの捕獲頭数は、7293頭で、平成26年度の6589頭を大きく上回りました。

## ○国民健康保険税条例の一部改正

5月13日に「平成28年度豊岡市国民健康保険事業運営の基本方針について」の答申を受け、条例の一部改正案を今議会に提出しています。

本年度の医療費は、昨年度実績と比較して4・0%の増を見込んでいます。国保税額の算定に当たっては、繰越金見込額の2分の1相当額の1億2200万円と国民健康保険財政調整基金の1億円を充て、被保険者1人当たりの税額(基礎課税分・後期高齢者支援金分・介護納付金分)は、対昨年度比9・8%増の10万9643円になります。

昨年度の外国人宿泊者数は、3万4318人(前年比約2・3倍)と大幅な増加です。今年1月から3月までは、1万542人(前年同期比1・88倍)で順調に増加しています。

本年度は、わな猟によるシカ捕獲専任班を2班から3班体制に再編成し、銃猟によるシカ捕獲専任班は1班19人を2班に再編成します。本年度も引き続き、捕獲目標頭数6500頭を達成できるように、捕獲体制のさらなる強化に取り組みます。

本年度の医療費は、昨年度実績と比較して4・0%の増を見込んでいます。国保税額の算定に当たっては、繰越金見込額の2分の1相当額の1億2200万円と国民健康保険財政調整基金の1億円を充て、被保険者1人当たりの税額(基礎課税分・後期高齢者支援金分・介護納付金分)は、対昨年度比9・8%増の10万9643円になります。

外国人観光客の動向 昨年の外国人宿泊者数は、3万4318人(前年比約2・3倍)と大幅な増加です。今年1月から3月までは、1万542人(前年同期比1・88倍)で順調に増加しています。

外国人宿泊者数の目標は、2020年で10万人としていますが、今後は、1人当たりの観光消費額、平均滞在日数などの目標も設定します。

昨年度のシカの捕獲頭数は、7293頭で、平成26年度の6589頭を大きく上回りました。

## ○豊岡市営住宅の設置及び管理に関する条例の改正漏れ

昨年度解体した市営中山神田住宅について、条例から削除する条例改正手続きが漏れていたため、今議会に同条例の改正案を提出しています。

議員ならびに市民の皆さまに対し、深くお詫びを申し上げます。今後は、適正な事務処理に努めます。

## ○北近畿豊岡自動車道

北近畿豊岡自動車道の(仮称)豊岡南インターチェンジから公立豊岡病院に近接する(仮称)豊岡インターチェンジ

## ■人と自然が共生するまち

### ○クリーンパーク北但の整備状況

米国および豪州市場へのプロモーションを開始する他、成長著しい東南アジアからの誘

米国および豪州市場へのプロモーションを開始する他、成長著しい東南アジアからの誘

米国および豪州市場へのプロモーションを開始する他、成長著しい東南アジアからの誘

までの2kmの区間が「豊岡道路」として、新規事業化されました。国では、本年度1億円の事業費が予算計上され、測量調査設計が進められます。

なお、八鹿氷ノ山インターチェンジから(仮称)日高インターチェンジまでの八鹿日高道路は、本年度末に供用開始予定です。

### ○ターゲット70ナゼル

昨年度の但馬空港利用者数は2万9362人。3年連続で前年度の記録を上回り、開港以来最高を記録しました。また、東京乗継利用者数も3年連続で1万人を超えました。本年度は、地域活性化と大交流の実現に必要不可欠な、東京直行便の実現に向け、本市の認知度向上と魅力発信を行います。また、航空需要を拡大する取組みを、航空会社や首都圏自治体との協働で実施します。

### ○Uターンの推進

今年4月、本市にUターン戦略室を設置しました。現在、人口社会減の抑制に向けた市の事業全体の精査を横断的に進めています。今後早急に①学識者、市内企業と共に

Uターン推進策を策定・実施  
②高校生に対し市内企業の見学や経営者などによる講話③ジョブナビ豊岡をより訴求力のあるものに改修④スマートフォンなどを活用し豊岡出身の若者に豊岡の情報を定期的に届ける仕組みの構築一を行います。

今議会に、これらの取組みを強化するための補正予算を提出しています。

### ○地域おこし協力隊

地域おこし協力隊は、4月以降、新たに城崎、竹野、豊岡地域に各1人加わり、現在9人が活動しています。7月には、さらに城崎地域に1人の委嘱を予定しています。充足していない地域については、引き続き募集を行います。

### ■未来を拓く人を育むまち

○**中学校への空調設備整備**  
すでに設置済みの但東中学校を除く中学校の普通教室および特別教室等に、空調設備の整備を行います。平成30年夏からの全校一斉稼働を目指し、本年度は実施設計を行います。来年度から工事を行います。

### ■人生を楽しむ

お互いを支え合うまち

### ○高齢者の学びの拠点等

#### 事業化可能性調査

但馬高齢者生きがい創造学院は、市街地から離れていることなどにより、学院生が減少傾向にあります。また、施設の老朽化による維持管理経費の増加などの課題もあります。一方で、市街地は空き店舗が多く、将来的にもさらなる空洞化が懸念されます。

これらの課題を解決するため、交通便利性の高い中心市街地に高齢者の学びの拠点を移し、併せて中心市街地の活性化にも寄与できる機能を持った施設整備に向け、可能性調査を行います。

### ○市民ふれあいのつどい

「式町水島ハートフルコンサート」  
脳性麻痺などによる障がいと闘いながらバイオリンの演奏活動をされている式町水島さんのハートフルコンサートを7月31日に開催します。

### ○植村直己冒険賞

このコンサートを通して、障がい者や東日本大震災に起因する人権問題、いのちへの共感などを考えます。

### ○20周年記念事業

植村直己冒険賞は、本年度20回目の授賞式を迎えます。この節目に、歴代の受賞者を本市に招き、講演会や交流事業などを8月に実施します。

### ○永楽館歌舞伎

永楽館歌舞伎の公演期間を1日(2回公演)追加します。今議会に、この追加に係る補正予算を提出しています。

○**東京2020オリンピック**  
・**パラリンピック競技大会**  
に向けた取組み  
2020年の大会に向け、仏や欧米をターゲットに、円山川城崎漕艇場にボート競技の事前キャンプの誘致活動を行います。ソフトボールが大会の競技種目に選定された際には、ソフトボールチームの事前キャンプも検討します。

また、国ではホストタウン構想事業を推進しており、本市は、モンゴルとのホストタウンの登録を目指します。その一環として、同国のボクシングチームの事前キャンプ誘致の検討を進めます。

### ○地方創生総合戦略

第2版の策定  
昨年10月30日、地方創生総合戦略の第1版を策定しました。第2版は、戦略体系図の整理をはじめ、事業推進に当たつての成果指標となる重要業績評価指標(KPI)の設定や、主要事業を本年度の事業に置き換えます。

### ○合橋地域づくり事業

「合橋地域づくりの会」は、地域コミュニティ組織として平成26年2月に設立されました。今回、同会は、国の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業を利用し、地域プロデューサーの協力の下、大学との連携や体験プログラム提供のための拠点整備を実施されることになりました。

### ○長期財政見直し

長期財政見直しは、平成26年度決算額を基本に、一般財源ベースで平成40年度までの15年間を見通しています。投資的経費は、一般財源ベースで毎年度約16億円、事業費ベースで毎年度約50億円を見込んで算定しています。引き続き慎重な財政運営を心掛けます。

### 《市政の運営》

合戦略の第1版を策定しました。第2版は、戦略体系図の整理をはじめ、事業推進に当たつての成果指標となる重要業績評価指標(KPI)の設定や、主要事業を本年度の事業に置き換えます。